

2018年度 公益社団法人 鎌倉青年会議所 委員会活動方針・事業計画

- 委員会名：会員拡大委員会
- 担当副理事長名：日向 智則 (確認日2017年11月28日)
- 委員長名：米澤 寿人 (作成日2017年11月27日)
- 副委員長名：松永 充広
- 委員名：斉藤 正朗、西崎 肇、根本 紗央里、橋本 航季、宮沢 輝、メタ バラッツ
- 作成者名：米澤 寿人

1. 委員会活動方針

自らが住み暮らすまちへの関心が薄れている様に感じられる現在において、若者がまちに対して関心をもつ事が重要だと考えます。そのまちに関わる若者達の方で運営されるのが青年会議所であり、まちへの影響力を強める為には、多くの仲間を迎える必要があります。そして仲間一人ひとりが、まちに対して自分には何が出来るのかを考え行動を繰り返す環境に自ら身を置き続ける事は、社会人としての自覚を深めていく事へと繋がります。それはやがて、まちから必要とされる人へと成長し、我々が目指す明るい豊かな社会を築き上げていく事になります。その為にも、一人でも多くの仲間を増やしていく事が重要だと考えます。

本年の会員拡大委員会では、仲間達との連携を強化して多くの情報を集め、積極的に拡大活動を行う仕組みを作ると同時に、我々が行っている青年会議所運動を多くの方々に伝え、拡大に繋げていきます。また、魅力ある組織を次の世代へと引き継いでいく為には、常に魅力ある人を育てていく環境が重要です。この事を多くの方々にも共感してもらえ、事業を開催する事で、仲間が学びの機会とすると同時に当会議所の運動を市民へと発信し拡大へと繋げていきます。そして、異なる地域の人々と話し合う事で、自らが住み暮らすまちに対し新たな気づきを得る機会として、隣接する地域の仲間と共に3LOM合同例会を行います。さらに、まちを支えていく市民とまちについての認識を深め、共有する事業を開催する事で、一人ひとりがまちに対する関心を持ってもらうと同時に、まちについて共に語り合う仲間として当会議所の更なる会員拡大を押し進めてまいります。

これらの事業を行い新たな仲間と共に活動し、まちの人と関係を築く事は当会議所の力強い運動となり、仲間とまちの人との繋がりが広がる事でまちへの影響力が強まります。また、仲間が活動を通じてまちの現状を認識し、積極的に行動する人となる事で、まちからも信頼される存在となり自らの活動に誇りを持つ事に繋がります。そして、その誇りを次の仲間へと引き継いでいく事が当会議所の存続へと繋がり、明るい豊かな社会を築き上げる為に必要な成熟した大人になる一助となると確信します。

2. 委員会事業計画

(I) 会員拡大の実施

- (a) 内 容：会員拡大活動
- (b) 時 期：2018年 1月～12月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度、入会希望者並びに関係者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(II) 魅力ある人を育てる考え方を多くの市民と共に学び、共感する事業の実施

- (a) 内 容：講演会の開催
- (b) 時 期：2018年 4月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度、入会希望者並びに関係者、市民
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(III) 隣接する仲間と共に学び、交流する事業の実施

- (a) 内 容：3LOM合同例会の開催（主管：一般社団法人 逗子葉山青年会議所）
- (b) 時 期：2018年 6月
- (c) 対 象：一般社団法人 逗子葉山青年会議所
一般社団法人 藤沢青年会議所
公益社団法人 鎌倉青年会議所会員を対象に40名程度並びに入会希望者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(IV) このまちを共に語り、認識する事業の実施

- (a) 内 容：勉強会並びに交流会の開催
- (b) 時 期：2018年10月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度、入会希望者並びに関係者、市民
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

3. 共通実施事項

- (a) 会員拡大
- (b) 渉外事業への参画、参加